**第4学年3組　国語科学習指導案**

**１　単元名・教材名**　調べたことを整理し、発表しよう

**２　本時の学習指導**（本時3/13時）

（１）目標

　〇相手意識や目的意識をもち、「関わり合い」について調べたいことと、その具体的な内容を決めることができる。

（２）評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

|  |
| --- |
| ア　国語への関心・意欲・態度 |
| ① 学習の見通しをもち、 進んで取り組もうとしている。 |

（３）展開(〇は指導上の留意点　　　　内は評価を表す)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　前時の学習を振り返る。  ２　本時のめあてを確認する  伝える相手と目的とをはっきりさせて、自分の課題を決めよう。  ３　どんなことを調べて発表したいか、各自の課題を決める。  〈予想される児童の反応〉  ・展示はどのように打ったり、読んだりするのか。  ・ルイ＝ブライユとはどのような人物か。  ・点字以外の目の見えない人のための工夫にどんなものがあるのか。  ・ユニバーサルデザインとはどのようなものか  ・  ４　設定した課題に即して、具体的な調査内容を決める。  〈予想される児童の反応〉  ・いつごろからあるのか  ・どんなところで、どんな人が、どのように使うのか  ・それがあると、どんな点で便利なのか  ・それがあることで起こる悪いことは何か  ５　学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 | ・前時の振り返り  ・本時のめあて  ・課題の設定  ・相手意識をもつ  ・目的意識をもつ  ・自分の課題について考えを深める  （ワークシートによる考察）  「誰もがよりよく関わり合う」ということについて考えを深めるのにふさわしい課題と、調査内容を設定していれば「おおむね満足できる状況である」と判断できる。  ・学習の振り返り  ・次時の見通し | 〇前時に共有した内容をもう一度いくつか板書する。これは、３の活動で悩んでいる児童の補助となる。  〇相手意識と目的意識を明確にする。  　（相手）クラスの人たち  　（目的）「だれもがよりよく関わり合う」ことについて考えを深めるため  〇相手や目的を意識して課題を設定することができるよう、ワークシートを用意する。  〇前時で取り上げた「点字」や「目の不自由な人のために工夫」以外にも「よりよく関わり合うこと」に関連していればよいことを伝える。  〇ワークシートの手順通り、まず初めに気になることをいくつか挙げるようにし、その中から課題を選ぶようにする。  〇悩んでいる児童には、前時に出された中から選んでもよいことを伝える。  〇調査内容を具体的に考えておくと、次時以降の活動をスムーズに進められることを伝える。  〇自分で考えるのが難しそうな児童が多数いる場合、よく考えられている児童のワークシートを提示し、参考とする。  〇「誰もがよりよく関わり合う」ということについての課題が設定できたか確認する。  〇次時より調べ学習が始まることを確認する。  〇本などの資料を用いて調べ学習を行うことを予告しておき、自分でも資料の目星をつけておくよう指示する。 | 4´  4´  15´  20´  2´ |

|  |  |
| --- | --- |
| 次時の学習内容 | 本時で設定した課題についての調べ学習を行う。 |

**３備考**　在籍児童数　35名